



議会 だより

No.
143

平成28年
8月1日号
発行／京都府
久御山町議会



6月定例会

- 補正予算・条例制定など……………2～3P
- 討論・採決結果……………4P
- 常任委員会からの報告……………5～6P
- 8人が登壇 一般質問……………7～15P
- 研修報告など……………16～19P
- このまち・このひと……………20P

[表紙写真：リズム体操で親子のふれあい(あいあいホール)]

9月定例会の予定

- 9月 8日(木) 開 会
- 9月23日(金) 一般質問
- 9月26日(月) 予 備 日
- 9月29日(木) 閉 会

※日程は、変更することがあります。

次号(11月号)は、11月15日に発行します。

平成28年
6月定例会
6/7~24

平成30年4月実施へ

久御山中学校給食室 設計委託料等 836万円

平成28年第2回（6月）定例会は、6月7日から24日までの21日間の会期で開かれました。
今議会では、町長から提出された条例制定・改正、補正予算など17議案を審議し、いずれも原案のとおり可決されました。
一般質問には、8人の議員が登壇し、当面する多様な課題や、取り組みについて町政をただしました。

■平成27年度補正予算（専決処分）			
区分	補正額	補正後の額	
一般会計（第6号）	▲2億2382万円	68億6999万円	
特別会計	国民健康保険（第5号）	▲1458万円	24億9303万円
	三郷山財産区（第3号）	▲42万円	3193万円
	公共下水道事業（第4号）	▲1963万円	8億2842万円
	介護保険（第4号）	▲273万円	12億3311万円
	後期高齢者医療（第3号）	375万円	1億9067万円
■平成28年度補正予算			
一般会計（第1号）	3980万円	71億5080万円	
一般会計（第2号）	4344万円	71億9424万円	
特別会計	公共下水道事業（第1号）	846万円	8億6126万円

*万円未満四捨五入 (▲=減額)

平成27年度
補正予算
専決処分

◆一般会計補正（第6号）

〔歳入（収入）の主な内容〕

■国庫支出金 ▲6289万1千円

■繰入金（町の財政調整基金他） ▲1億5059万5千円

■町債（借金） ▲1930万円

*町道（宮ノ後・北畑線）、東一

口公園他、工事費用減額のため

〔歳出（支出）の主な内容〕

年度末の精査（人件費・工事費等）、国の地方創生加速化交付金事業の不採択等による減額

■道路橋梁維持管理費・改良工事費など ▲744万2千円

平成28年度
補正予算

◆一般会計補正（第1号）

〔歳入（収入）の主な内容〕

■繰入金（町の財政調整基金） 3481万7千円

■コミュニティ助成金（宝くじ社会貢献広報事業） 250万円

〔歳出（支出）の主な内容〕

■村東公会堂改築補助 1000万円

■いきいきホール（町健康センター）の運動機器備品購入 125万円

■工業団地内125カ所に街灯（LED化）新設工事 400万円

■久御山中学校給食実施事業

835万9千円

■防犯カメラ4台設置（地下道2カ所）
129万3千円



淀川・木津川水防事務組合議会議員選挙

任期満了（8月21日）に伴う、淀川・木津川水防事務組合（宇治市・京都市・城陽市・八幡市・久御山町）の議会議員選挙（本町定数4人）。6月7日の本会議で、次の人が当選されました。

佐野 武士氏（再任・東一口）
段 繁 氏（再任・下津屋）
坂部 英一氏（新任・佐山）
村田 雅彦氏（新任・北川顔）

◆公共下水道特別会計補正（第1号）

【歳入（収入）の主な内容】

繰入金（一般会計より）

845万6千円

【歳出（支出）の主な内容】

森地区の中内ポンプ維持補修

845万6千円

*真空ポンプ内ローター部の故障



◆一般会計補正（第2号）

【歳入（収入）の主な内容】

国庫支出金（地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金）

4038万2千円

繰入金（町の財政調整基金）

305万8千円

【歳出（支出）の主な内容】

「ものづくりの苗処」事業

3454万円

■交流促進事業（特産品開発・レインタサイクル他） 890万円

条例の制定

●市田地区内の地区計画区域の建築物を制限

*建築基準法に基づき、宇治都市計画市田地区内の建築物に関する制限を定める。

建築物の壁面の位置の制限（5m以上）や建築物の規制、既存の建築物に対する制限の緩和等々を規定した。

条例の一部改正

●家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定める条例一部改正

*国の省令等の施行に伴い、運営基準で、保育士の配置要件を緩和し、幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭も保育士とみなす事ができるようにする。

●町税条例等一部改正の専決処分の承認を求める

*「地域決定型地方税制特例措置（通称・わがまち特例）」の導入により、「特例」対象の償却資産の軽減割合を規定。

●都市計画税条例一部改正の専決処分につき承認を求める

●固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例一部改正の専決処分の承認を求める

●行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）に基づく個人番号の利用に関する条例一部改正

●国民健康保険税条例一部改正の専決処分につき承認を求める

*医療給付費分及び後期高齢者支援金分の課税限度額の引き上げ。法定2割、5割の軽減対象を拡充した。

★専決処分：特に緊急を要するため、町長が地方自治法に基づき議会に代わって処理すること。

下水道・森地区中内ポンプ 保守点検後、ローター部故障・停止

真空ポンプ内は、大量の錆と水：原因究明・報告求める

24日の定例会最終日、平成28年度公共下水道事業補正予算第1号（議案第45号）の採決に先立ち、中野ますみ、岩田芳一、中井孝紀の各議員は、賛成討論をおこないました。討論要旨は次の通りです。

▼中野ますみ 議員

以下の徹底を求める。

- ①故障した原因の究明と公表
- ②保守点検への職員配置
- ③責任所在の確認
- ④今後の対策を明確にし、公表すること。

▼岩田芳一 議員

公共下水道維持管理・ライフラインの確保は、絶対必要条件となるため、住民生活には欠かせない。また、住民への安心安

全に寄与するものなので、賛成する。

今後も、無駄なく事業を実施し、一層努力されることを指摘する。

▼中井孝紀 議員

本来、予算を提案する前に故障原因や責任所在を確認するべき。問題等があるが下水道ポンプの設置を急ぐため、条件付き賛成とする。

予算については、町の責任が明確になるまでは執行しないこと。進捗状況の議会への報告を嚴重に求める。

全議案の採決結果

賛否が分かれた議案

② ○=賛成 ×=反対 *島議長は、賛否同数以外は採決には加わりません。

議案	議員名	信貴恵太	松本義裕	林吉一	中野ますみ	松尾憲	中大介	田口浩嗣	内田孝司	岩田芳一	中井孝紀	戸川和子	塚本五三藏	巽悦子	結果
第32号	久御山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例一部改正	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
第33号	久御山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
第37号	久御山町国民健康保険税条例一部改正の専決処分につき承認を求めること	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
第46号	平成28年度久御山町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

②上記表中の×（太ゴシック）については、反対討論もおこなっています。

全員賛成で可決した議案

第31号	久御山町市田地区地区計画区域内における建築物の制限に関する条例制定	
第34号	久御山町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例一部改正の専決処分につき承認を求めること	
第35号	久御山町町税条例等一部改正の専決処分につき承認を求めること	
第36号	久御山町都市計画税条例一部改正の専決処分につき承認を求めること	
第38号	平成27年度久御山町一般会計補正予算（第6号）の専決処分につき承認を求めること	
第39号	平成27年度久御山町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第5号）の専決処分につき承認を求めること	
第40号	平成27年度久御山町三郷山財産区特別会計補正予算（第3号）の専決処分につき承認を求めること	
第41号	平成27年度久御山町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分につき承認を求めること	
第42号	平成27年度久御山町介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分につき承認を求めること	
第43号	平成27年度久御山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の専決処分につき承認を求めること	
第44号	平成28年度久御山町一般会計補正予算（第1号）	
第45号	平成28年度久御山町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	《賛成討論3名》
第47号	財産の取得について（高規格救急自動車一式更新）	



ワーウィック・ステート・ハイスクール

久御山中学校とワーウィック・ステート・ハイスクールとの姉妹校交流事業

委員会 レポート

6月の民生教育常任委員会・協議会（10日）では、久御山中学校とワーウィック・ステート・ハイスクール姉妹校交流事業及び、平成27年度「プラマーク製品」の分別収集結果について、総務事業常任委員会・協議会（13日）では、栄地区まちづくりアンケート調査結果及び、まちの駅クロスピアくみやま6周年記念事業の結果について議論が集中しました。
各常任委員会や協議会での質疑応答について報告します。

民生教育常任委員会・協議会…

9月14日～20日の間に実施する交流事業について

- Q 交流校が、久御山中学校と小学校が2校となっているのは。
- A 学校の日程と合わず、1校は受入れができなかった。
- Q 貴重な機会であり全小学校とも交流を持つべきでは。
- A 今回の訪問日程には平日が少なく、学校行事との兼ね合いもあり日程調整が難しい。今回、全ての小学校での交流はできないが、今後も中学校を中心に小学校での交流もおこなっていききたい。

平成27年度「プラマーク製品」の分別収集結果について

- Q 可燃ごみで13ト増加、不燃ごみで65トの減少だが、可燃ごみが増加した理由は。
- A 汚れが取れない「プラマーク製品」は、不燃ごみに出さないうで、可燃ごみに出してもらっているため。

総務事業常任委員会・協議会…

「栄地区まちづくりアンケート」結果について

栄地区において居住者の意見を聞き、今後のまちづくりの参考とするためアンケート調査を実施した

- Q どういったことを望まれているのか。
- A 平成5年にも調査をしているが、今回も一緒に現状を希望されている。
- Q 町の思いは。
- A 住民の皆様の思いを尊重したい。

※栄地区まちづくりアンケート
良好な住環境を形成している栄地区において、現在の第一種低層住居専用地域（建ぺい率50%容積率80%）について、居住者の意見を把握するためのアンケート調査

- まちの駅クロスピアくみやま6周年記念事業の結果について
- Q 昨年実施された5周年の来場者数との変化は。
- A 前回は約3500人で今回は約2800人で減っている。
- Q 出店の売り上げと使用料は。
- A 個々の売り上げは把握していない。出店料はとっていない。

*アンケートは、3月11日～22日の間に実施。配布数555部、郵便回収数258件（回収率46.3%）。

内 容：「旧山田家住宅」の保存・活用
実施日：4月27日

民生教育常任委員会／閉会中の事務調査

長屋門、長塀工事とは

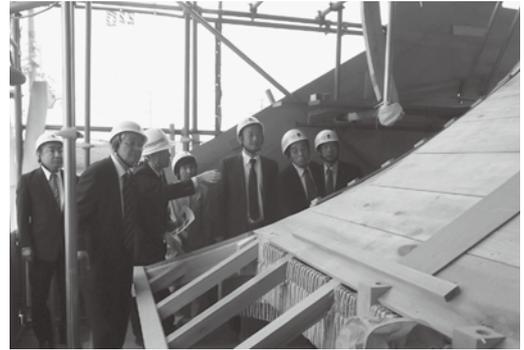
- ◆工事内容：長屋門、長塀の修理
《長屋門の工事》出桁^{でげたうでぎ}や腕木のゆがみ、野地板・野垂木の腐朽・崩壊箇所あり、屋根は全面葺き替えする。
《長塀工事》東側に傾斜、倒れる恐れがあるため工事をおこなう。

- ◆工事期間：平成27年度～28年度



長塀工事の説明を受ける委員

平成29年4月から
月1回・半日程度公開する



屋根は全面葺き替え工事

- ◆今後の活用は…山田家や巨椋池^{おぐらいけ}に関する資料の展示、これまで実施している四季の行事のほか、新たな事業を展開する。

具体的には、平成29年4月から月1回、半日程度の公開日を定める。住民には周知する。

なお、中学校や社会教育関係団体の学習・研修・見学等受け入れは、従来通り実施する。

内 容：大内川サイフォン除塵設備更新
実施日：5月11日

総務事業常任委員会／閉会中の事務調査

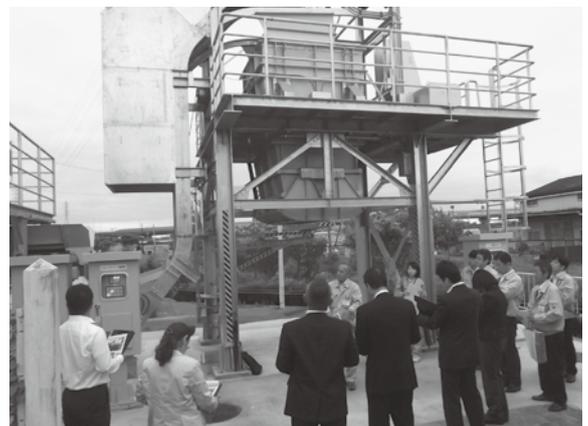
老朽化が激しい除塵設備更新

- ◆更新内容：除塵機2基、水平ベルトコンベア、スキップホイスト、ホッパー、電気設備など
- ◆工事金額：約1億2000万円
- ◆負担割合：国55%、京都府35%久御山町9.9%、京都市0.1%
- ◆更新理由：32年が経過し、老朽化が激しいため。
- ◆更新箇所：レーキ（つめ）など水にあたる部分は、鉄製からステンレス製に変更し、耐久性が向上した。
- ◆更新後の状況：1時間当りのゴミの処理量が約5倍（3.85m³⇒18.5m³）になった。

水にあたる部分をステンレス製へ
1時間当たりの処理量5倍に



東一口新久保・相島久保
地内の大内川サイフォンの
全景（左）



除塵機の前で更新部分の説明を受ける委員

8議員が 登壇

6月15日、16日の一般質問では、8人の議員が当面する諸課題について町政をたどしました。質問者及び質問項目は下記の通りです。質問・答弁の要旨は8～15ページに掲載しています。

一般 質問

ここが聞きたい

一問一答	松本 義裕 議員	1 若い世代が町行政に関心を持てるような取り組みについて 2 職員提案制度について	P 8
一括質問	信貴 恵太 議員	1 交流人口の増加について 2 交通安全対策について	P 9
一問一答	田口 浩嗣 議員	1 小・中学校の防災教育について 2 歩道や通学路の安全整備について	P10
一括質問	中野ますみ 議員	1 消費税10%引き上げについて 2 産業振興について 3 労働行政について	P11
一問一答	松尾 憲 議員	1 災害対策の現状について 2 公共交通について	P12
一問一答	岩田 芳一 議員	1 投票率向上の取り組みについて 2 食品ロス削減について	P13
一問一答	中井 孝紀 議員	1 治水・内水排除対策の進捗状況について 2 公共交通の充実による、まちの活性化について 3 幼稚園・保育所の方向性と就学前教育の充実について	P14
一問一答	巽 悦子 議員	1 国民健康保険について 2 水道事業について 3 まちづくりと交通政策について	P15

一括質問 → 議員の質問時間の制限はない。質問回数は2回まで。

一問一答 → 2回目からの質問は、1つの事項を深く掘り下げて何度でもできる。ただし、議員の質問時間は30分以内。

* 次回の定例会は、表紙に掲載の日程で開催する予定です。

* 議会日程や傍聴の手続きなど詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

* 議会事務局：075 (631) 9996、0774 (45) 0105

議会のライブ・録画映像がスマートフォン・タブレットでもご視聴いただけます。町ホームページの久御山町議会から議会インターネット放送をクリックしてください。

一般質問



松本 義裕 議員

一問一答方式

若い世代が町行政に関心が
持てるような取り組みは

住民討議会等を開催

質問

若い世代にもっと町行政に関心、
興味を持ってもらうために、何か
取り組みは。

総務課長

平成25年度から住民討議会を開
催。平成27年3月に京都府立大学
と連携協力包括協定を締結し、ガ
イドマップ作りや町民文化祭の運
営に若い発想で取り組んでいる。

質問

住民討議会では、どのような意
見が出ているのか。多くの若い皆
さんの意見も取り入れ、実現でき

るような取り組みにしてほしいが、
町長はどのように考えているのか。

総務課長

防犯カメラの設置、ガイドマッ
プづくり、久御山産農産物のレス
トランの設置等の意見がある。

町長

新しい時代をこれから創生して
いく上で、若い人の発想とエネル
ギーが必要不可欠である。
今後も多く若い皆さんの声を
積極的に取り入れる。



住民討議会

今後、職員提案制度をどの
ように生かしていくのか

行財政改革、住民サービスの
ために、制度をフルに活用

質問

提案制度の目的は。現在までに
出された提案内容については。

総務課長

町政に関する職員の創意工夫を
奨励し、事務の改善、能率の向上
及び住民サービスの向上を図るの
が目的だ。

3年間で、合計8件。窓口用封
筒に企業コマーションを載せ企業
の費用で作成してもらう、公用車
にドライブレコーダーを設置する、
雨水貯留施設設置の補助金制度の
創設等の提案があった。

質問

まちづくりについても提案をもっ
と引き出してほしい。気兼ね
なく意見交換ができるような環境
改善については。

総務課長

縦割りではなく横のつながりで、
自由に職員の意見を出し合って職
場改善していくということが重要
である。活発な意見を出し合える
職場づくりをしていきたい。

質問

本町にとって、職員の皆さんは、
かけがえのない財産であり、現状
だと、宝の持ち腐れである。町と
して、本気で取り組めていない。
志のない制度ならば意味がない。
根本的に考え直す必要がある。現
状について、どのように感じ、今
後どのように生かしていくのか。

総務部長

件数は少なく、反省し、残念に
思う。職員のモチベーションを上
げるような取り組み、仕組みづく
り及び職員から活発な意見が出る
ような職場づくりに努める。

町長

本町としても、各職場、各職員
がそれぞれ知恵を出し合い、徹底
してこの行財政改革、並びに住民
サービスの向上のために、職員提案
制度を、フルに活用する。

一般質問



信貴 惠太 議員

一括質問方式

交流人口の増加への施策は

近隣自治体と連携しながら進めたい

質問

平成27年7月に宇治市と亀岡市の観光協会が、観光連携協定を締結された。

近隣自治体等と連携することで、交流人口が増加すると考えるが、既に連携している事例はあるのか。

産業課長

京都三川合流域地域づくり推進協議会にも参画している。

また各種イベントを自治体間でのネットワーク化も図りながら、京都府や構成自治体と一体となって進めていきたい。

質問

レンタサイクル事業で、久御山の人気スポットの1つである流れ橋との連携を強化すれば、より交流人口の増加につながると考える。流れ橋に多くの方が訪れることができるため、将来的に駐車スペースを設けるなどの考えは。

産業課長

レンタサイクルの導入によって、流れ橋に多くの方が訪れていただき、久御山町の知名度の向上につなげたい。

駐車スペースの必要性も検証して、関係部署等と連携をしながら検討したい。



復旧した流れ橋

町道の交通事故対策は

ゾーン30を協議している

質問

本町で事故が多発している箇所と件数は。

また通学路が危険なケースも見受けられる。子どもの通学路の安心安全のための久御山町通学路安全プログラムの策定経過は。

都市整備課担当課長

昨年、国道1号や府道の幹線道路では202件の事故(全体の67%)。事故全体の約3割は町内の生活道路において発生している。

学校教育課長

平成28年3月に久御山町通学路安全推進会議を設置し、その取り組み方針を定めた久御山町通学路交通安全プログラムを策定した。

質問

スピード抑止をするための手だが必要であると感じているが、

どのような対策を講じてきたのか。

また、今後の対策は。

プログラムを策定して、これまでどのようなように子どもたちが安心安全に通学できるのか。

都市整備課担当課長

歩行者の安全な通行を確保するという目的で、区域を設定して、区域内の最高速度を時速30キロに制限する、「ゾーン30」を宇治警察署と協議を進めている。

学校教育課長

課題箇所等の改修や改善がなされるということから、子どもたちが安心安全に通学できると考える。児童生徒の交通安全に対する意識の向上につながっていくものと考えている。



30キロ制限の区域 (宇治市)

一般質問



田口 浩嗣 議員

一問一答方式

Q 小中学校の防災教育の在り方は

A 新たな「防災力」を取り入れ前向きに検討する

質問

久御山中学校は、避難施設なのに一度も地域や企業と生徒が一緒に訓練をしていない。

本町の昼間人口は、夜間の1.7倍の約2万6000人である。災害時に最悪の状況を考えて、訓練や防災教育に当たるべきではないか。また、国や民間からの人材派遣を利用した、訓練や防災教育の施策導入の考えは。

防災教育の一つとして「ジュニア防災検定」を各小学校で受検する事は、有効な手段だと思いが検討をしてみようか。

学校教育課長

防災事業の実施は、子どもたちの防災力を高めるのに有効だと考える。その実現に向けて、町各課をはじめ関係団体とも連携する必要がある、今後研究していく。

教育長

今年度、久御山学園では、育てたい力として、自己指導能力を掲げている。そのときその場で、何が適切な行動か、自分で考えて、実行する能力で、「生きる力」の育成につながる。

今後も発達段階に応じた、有効な防災教育を実施し、自己指導能力を向上させ、「防災力」の育成に取り組んでいく



一般財団法人 防災教育推進協会HPより

Q カラー舗装など進まぬ通学路の安全対策は

A 個別事案ごとにカラー舗装やカラーラインの設置をおこなう

質問

以前の質問では、平成24年に亀岡市や祇園（京都市）、平成25年に八幡市で車の暴走事故が発生したことで、本町でも25年度に15の通学路要改善箇所を改善していくとの答弁であった。その後の進捗状況は。

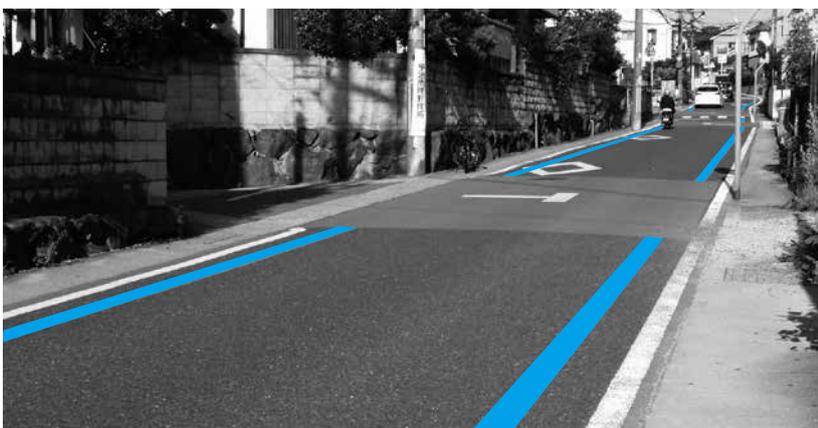
また、カラー舗装やカラーライン、ポールなどを宇治市・八幡市・城陽市・京都市等が、早々に施工している。

なぜ、久御山町内だけ歩道や通学路の安全整備が進んでいないのか。

副町長

亀岡での通学時の痛ましい事故後、本町では通学路緊急点検を実施し、15カ所を安全対策必要箇所とし、かねてからの懸案であった。東一口道路狭小箇所歩道整備

も今年度を実施する予定であり、15カ所全て完了する。また、順次、カラー舗装やカラーラインの設置を関係機関と協議し、おこなっていきたい。



カラー舗装やカラーライン（宇治市）

一般質問



中野ますみ 議員

一括質問方式

消費税10%への引き上げ
についての見解は

実施時期を十分国政で議論
された上で増税されるべき

質問

消費税8%への引き上げによる個人及び中小零細事業所への影響についての認識は。また、10%への引き上げは、延期ではなくきっぱり中止にするべきではないのか。町長の見解は。

町長

消費税増税による影響の有無については様々な意見があり、同業種においても意見が異なっている。一律に、町内企業への影響や景気回復などの基調を判断することは困難だ。

消費税10%への増税は、実施時期を十分国政で議論された上で、増税されるべきと考える。

中小企業振興条例を策定し、
それを基本に実施すべきでは

先進地の事例を研究しつつ
条例の必要性を見極めたい

質問

町産業振興計画（平成28年度～31年度）の5課題と問題点は。

産業課長

課題は、①交通・土地②知名度③連携・交流④人材・後継者⑤創業・第二創業者であり、今後経営していく上での弱みである。

産業振興計画では、この課題を踏まえた目指すべき方向性を定め、強みを伸ばし、弱みを克服する取り組みを設定した。法整備等が必要な場合は、国とも協議したい。

質問

一昨年には、小規模企業振興基本法も公布された。本町の産業振

興計画は、第5次総合計画を上位計画とするだけでなく、産業振興に特化した中小企業振興条例を策定し、その条例の目的を基本に実施すべきではないのか。

事業建設部長

本町においては、「産業振興計画」を策定し、町「総合戦略」と整合性を図りながら進める計画としている。条例の必要性も、先進地の事例も研究しつつ、条例の必要性を見極めていきたい。

質問

ブラック企業根絶に向けた取り組みは。
また、若年層など非正規雇用や

産業課長

ブラックバイトといった不安定雇用で働く人々が、使い捨てとして働かされている実態が大きな社会問題になっている。
雇用実態の把握や改善に向けた取り組みが必要ではないのか。

本町として、啓発や無料法律相談の紹介、府の相談窓口へつなぐなど国・府と連携して対応したい。
若者が希望をもち、結婚し、子どもを育てる社会は必要である。



無料法律相談の紹介や府の相談窓口へつなぐ（町産業課）



労働トラブル相談を紹介するパンフ（京都府）

一般質問



松尾 憲 議員

一問一答方式

町防災計画

大規模災害に備えは充分か

震度7死者90人

全壊1680棟を想定

質問

熊本地震から二か月、一日も早い収束・復旧を願うが、今回もまた「想定外」の被害発生という言葉が聞かれた。

阪神淡路、東日本大震災の教訓がまだ生かされていないと感じる。本町の防災計画では、予想される南海トラフ地震も含め、備えは充分であるか、また最大被害の想定規模はどうか。

町長

南海トラフ巨大地震をはじめ宇治川断層等の活断層による地震被害は、震度7で死者90人、全壊建物1680棟を想定し、体制を整えている。その上、住民の皆さんが自助・共助の意識の下自らの命を守る事が大切であり、自主防災組織活動の支援にも注力している。

質問

町役場庁舎は、災害対策本部としての機能維持は大丈夫か、熊本では市庁舎が使えない事例があった。

総務課長

本庁舎付近でも液状化の危険性は認識しており、その対策も取っている。また耐震基準も問題なく災害対策本部機能は維持できる。

質問

本町では、各小中学校が避難場所を設定されているが、南阿蘇村の場合は亀裂が入り使えなかったと聞けが、本町ではどうか。

総務課長

各避難場所とも断層等の影響はないと考えている。また水害の際は最上階への避難、さらには二次避難も考慮している。



予想外の被害（熊本県内）

質問

熊本からの報告では、避難所運営が事前計画通りできなかった部分があったと聞く。

支援物資が行き届かない、障がい者等の皆さんが身の置き場がない等聞けが、本町での対応は。

総務課長

各避難所の設営・運営のシミュレーションや運営マニュアルの1層の整備が必要であり、また実践訓練も必要かと考え、今後住民組織団体とも協議し考えていく。

のってこタクシー

住民の足は確保されているか

8月を目途に

改善点を検討する

質問

導入半年経過の「のってこタクシー」で住民の足は確保されていると考えるのか。通勤・通学の足確保の見直しは。

町長

三つの柱、高齢者の外出支援、公共施設への足、交通不便地の解消に寄与するものと考えている。

事業建設部長

長期的に検討しなければならないと考えている。

「早期に改善すべき点」「長期的な課題」「実現出来ない」の3点に絞り、地域公共交通会議で検討する。

町外への接続は路線バスが最優先と考え、事業者と連携し検討していく。

一般質問



岩田 芳一 議員

一問一答方式

若者議会の開催をしては

よりよい方法を検証し、
実施していく

質問

18歳選挙権が実現する今夏の参院選を前に、若者の政治的関心を高める動きに注目が集まっている。

若者の政策形成過程への参画を促進するなど、若者が社会における影響力を実感できるような取り組みを積極的に進めることが重要である。

本町においては、5年に1回、小・中学生を対象に子ども議会を開催している。投票率向上のために、16歳から29歳の住民の皆さんと共に、若者議会の開催が必要だと思つが。



町制施行60周年記念・子ども議会 (平成26年10月)

総務課長

若者が政治に関心がなければ、政治に若者の意見は反映されにくい。もっと若者の意見を吸い上げる機会を増やす必要があり、一つの手段と考える。

本町で毎年実施している住民討論会や町制モニターへの若者の参加する比率を高めることも一つと考える。より良い方法を検証し、実施していく。

「食品ロス削減」中学校給食の予定だが啓発を進めては

食について学習する機会をさらに充実していきたい

質問

食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」は、農林水産省によると、平成25年度推計で日本では年間2797万ト。このうちの4割近い632万トが食品ロスと推計されている。

本町では、平成30年度に中学校給食の予定となっている。

食育・環境教育などを通して、食品ロス削減のための啓発を進めるべきではないか。

学校教育課長

平成30年度中学校給食の開始に向けて、生徒の意欲、学力、体力の向上、豊かな心の育成に向けて家庭とも連携を図りながら、食について学習する機会をさらに充実していきたい。

質問

消費期限が迫った食品を引き取



佐山小学校での給食

り、生活困窮者へ無償提供する「フードバンク」があり、これは「食糧銀行」を意味する社会福祉団体である。

本町の災害備蓄食品があるが、有効活用の観点から、例えば消費期限6か月前などにフードバンク等への寄付等を検討してはどうか。

総務課長

消費期限が近づいたものは、各校区で開催されている自主防災連合会主催の防災訓練時に、参加者の方に啓発も兼ねて配っている。

余剰がでるようであれば、フードバンクへの寄付も検討していきたい。

一般質問



中井 孝紀 議員

一問一答方式

Q 内水排除の対策が進んでいないのはなぜか

A 一步一步進んでいると認識している

質問

町内が冠水被害をうけてから3年以上も経過している。

近隣自治体や関係機関と協議の場を設定し、課題の把握と対策を講じるように言ってきたが、進んでいないのはなぜか。

町長

昨年の11月に協議の場を初めて設けさせていただき、内水排除の方向に向かって一步一步進んでいると認識している。

質問

いまは6月だが、課題の整理は

済んでいるのか。

都市整備課担当課長

11月以降は、実質的に会議をもつといった場面はない。

質問

町長は町内が冠水することを許容しているのか。土地の有効活用を進めるためにも、内水排除の対策について意見が言えているのか。

町長

本町のことはばかり言っても淀川本線下流の理論もある。解りながらも訴えろと言う意見は同じ思いなので訴えていきたい。

質問

Q 鉄道の誘致活動をしないのか

A 行動を起こすのは非常に難しい

質問

鉄道やLRTの誘致活動について、どの程度の思いを持たれているのか。まちづくりにあわせて行動していかないのか。



LRT (次世代型路面電車)が走る富山市

町長

一足飛びにはハードルが高いと認識するが、光明を見出していかなければならぬと思っている。行動を起こすのは非常に難しい。

質問

本町にとって路線バスの充実は重要だ。地方創生加速化交付金が採択されなくても、企業と路線バス拡大を協議すべきでは。

副町長

交付金を申請しているが、もしつかなければ、全てをやりとげる状況ではない。

Q 御牧・東角校区の方向性は

A 4歳児3歳児と段階的に進める

質問

佐山(校区)は、幼稚園と保育所を一体とする(仮称)さやまこども園」を建設予定だが、御牧・東角の方向性は。

子育て支援課長

御牧幼稚園の3歳・4歳児は園児数が各5名であり、集団での幼児教育を進める上で課題となっている。4歳児、3歳児と段階的に幼保一体化を進めていきたい。

質問

佐山・東角の各3歳児も11名であり、就学前教育を充実させるためには、早急な対策が必要ではないか。

教育長

平成30年の「(仮称)さやまこども園」の開園を目的に、一体的な運営に向けて段階的に移行していきたい。

一般質問



巽 悦子 議員

一問一答方式

府営水6対4の比率は変えられるのか

府からは7対3、8対2に
と言われている

質問

府営水は、基本水量の半分しか使っていない。建設負担金だといつて年間408万8千トン(60%)買っているが、受水市町の城陽市は20%程度、大山崎町では45%、長岡京市は50%である。
本町が、50(府営水)対50(町・自己水)とするのは可能か。

上下水道課長

施設能力から行けば可能だ。余裕をもたせていくなら6対4が最適だ。

質問

408万8千トンの基本水量イコール建設負担金となっている。6対4の比率を変えられるのか。

上下水道課長

京都府からは、5対5に戻すのではなく、7対3とか、8対2に
と言われている。

質問

今後の10市町と府との懇談では、
実態を訴えていくのか。

上下水道課長

本町の立場で、検討していく。

国の低所得者支援財源を使って引き下げ求めるが

負担軽減は

難しいと判断する

質問

全日本民主医療機関連合会の実態調査では、無保険、短期証となった経緯には、保険料が払えなかった事例がある。
なにか手立ては考えているのか。

国保医療課長

平成28年3月31日現在で、短期証を渡せていないのは51世帯。被保険者に対しては、定期的に文書を別途送付し、来庁を促している。また調査を重点的に進めたいと考えている。

質問

滞納世帯で、所得0円が200世帯以上は3年連続だ。他市では、国の財政基盤安定化施策(低所得者支援)財源を使い、保険料を引き下げている。引き下げを本町にも求めるが。

町長

構造的問題もあるが、負担軽減は、難しいと判断する。

交通政策ができていない
早急につくる予定は

条例をつくっているところ
もあるので研究したい

質問

町は「のってこタクシー」で、
公共施設への移動はできたといっ



今年1月から廃止となったのってこバス(町巡回バス)

ているが、通勤・通学、また、町外からの通勤の足が非常に確保しにくい実態がある。

町アンケート結果では、これまでに「のってこバス」に乗っていた方の声が見えない。把握するのが。

都市整備課長

非常に厳しい。アンケートでは要望等もあるので、実施できるものについては改善していきたい。

質問

本町には、公共交通政策というものができていない。今後の計画が見えない。早急につくる予定はあるのか。

都市整備課長

公共交通の条例をつくっているところもある。必要か研究したい。

緑風会視察報告

(5月19日～21日)

和木町(山口県)

第6回全国コンパクトタウン議会サミット

第6回全国コンパクトタウン議会サミットが山口県和木町議会で開催され、本町より11人の有志議員が参加した。

当サミットは、面積が20平方キロメートル以下のコンパクトな町を対象に、議会議員が自主運営し開催しているサミット。

北は宮城県、南は福岡県の10府県の11議会から、99人の参加があった。

第1部は、「人口減少時代をむかえた小規模議会の突破力」と題し、山梨学院大学法学部教授、江藤俊昭氏が基調講演をおこなった。

第2部は、「防災減災 防災で地域まちづくり」、「地域創生 地域力で生き残る自治体」、「議会改革 議会の基本条例のその後」の3分科会に参加した。

各分科会では、各地域の施策な



和木町議会にてサミット

ど活発な意見交換ができたことは、本町の施策などと比較することで大変参考になった。

翌日、通常の製油所にはない麻里布製油所の石油コークス製造装置などを視察した。昭和18年に操業を開始し、70年の歴史を誇るENEOSの本州最西端の製油所で、石油製品を供給するという大事な使命を担っている。

萩市(山口県)

文化財の保存継承は公益財団法人が任っている

萩市は、江戸時代の地図がそのまま使えるまち。

萩藩の城下町であり、維新のふるさと、時代の先駆者である吉田松陰の松陰神社など史跡、文化財の数々が集積されている中に、菊屋家住宅がある。

萩藩の御用達を務めた豪商菊屋家住宅は、江戸時代前期に建てられ、幕府巡見使の宿として本陣にあてられていた。

屋敷地には、主家、本蔵、金蔵・米蔵、釜場の5棟が国の重要文化財に指定されている。

菊屋家住宅は、公益財団法人「菊屋家住宅保存会」が古建造物及び景観や美術品・民具等の関係資料を整備・維持・保存し、一般に公開することにより、歴史や学術及び文化の貢献に寄与している。



菊屋家住宅

きて・みて・議会

今年も「議会見学会」を予定しています。
本会議場や委員会室を議員が案内します。
みなさまのご参加をお待ちしています。



とき：11月5日(土)

11時～14時

会場：久御山町議会棟

主催：久御山町議会広報広聴委員会

久御山高校生が初めての傍聴



久御山高等学校では、18歳選挙権に向けた主権者教育の一環として、現代社会の授業で「議会だより」などの資料をもとに町議会について学習をおこなった後、6月定例会の本会議を傍聴しました。

6月15日は1年生1クラスで39人、16日は3年生1クラスで38人、教職員が5人で合計82人が午前10時から約1時間、一般質問を傍聴しました。

生徒は、若い世代が町政に関心を持てるような施策について、議員と町長らのやり取りに耳を傾け、熱心にメモを取っていました。

なお、同校では、来年度以降も全クラスが傍聴する方向で調整を進めています。

また、15日の午後からは、町明るい選挙推進協議会が、出前講座として3年生を対象に選挙啓発も実施しました。

今夏7月の参議院議員選挙から18歳選挙権（公職選挙法改正）が適用された。

町議会では、情報の公開とともに議会を身近に感じていただくため、町民をはじめ町内企業及び町の関係機関や、また、町内唯一の久御山高等学校にも「議会だより」を届けている。

（全7800部配布）

議会の内容で興味・関心は

●社会のことを考えている若者が4割、自分が政治に参加して変えたいと考える若者が3割、世界と比べても日本が最下位だ。

●7月からある選挙は、若者の投票率が低く影響されにくいので、16歳から始めるべき。

傍聴して、疑問に思ったことは

●決まった人が質問をするのは分かる。答える人は複数いても良いが、答えた内容に対しての疑問は本当にならないのか。

特にまわりで聞いている人は、質問の答えに対して疑問や質問はないのか。

●町行政といわれると堅苦しいイメージで、関心を持てなかった。普段普通に生活しているだけでは、町政について考える機会がない。

傍聴後の感想

●テレビでは、舛添前知事や野々



村元県議などの悪いニュースしかやっていないけど、町議会の人はしっかり「がんばって」仕事していると感じた。

●きつちりとした言葉づかいや文書構成は、議会のために用意されたものだと感じた。こういったことを町民の人は知らない人が大半だと思う。皆も議会傍聴に行き、もっと政治に国民は関心をもつべきだ。

●社会をよりよいものにするには、もっと若者が政治に参加していく必要がある。

住民が主役・住民と行政のパイプ役になる



初めての一般質問…悩みと不安もあった

“一期目議員大いに語る”に50人参加



今後の決意も語る1期目の議員

5月7日、2年目を迎えた新人議員による『一期目議員大いに語る!!』（主催・町議会）を、ゆうホールでおこないました。参加者は50人でした。

* * * * *

この間、毎年、町議会では住民の方々からの意見等を議会や町行政に反映させることを目的に、議会報告会や住民懇談会、政策討論会等を議会運営委員会主催で実施してきました。

こうした一環で、今回は、昨年の初当選から1年を迎えた時期をきっかけ

に、新人議員が抱負などを語る『一期目議員大いに語る!!』を企画しました。松尾憲（無党派）・中野ますみ（共産党）・林吉一・松本義裕（くみやまみらい）・信貴恵太（緑風会）が、それぞれ①議員になる動機やきっかけ②自身の公約・抱負③議員になって思ったこと・感じたこと④議員として目指すもの等々について語りました。

議員活動2年目に入った心境も踏まえ、5人の議員からは、「今の問題をしっかりと訴え、つながりを大切にする」（信貴）、「安心安全に暮らせるまちづくり」（松本）、「町とのパイプ役として、多くの相談をしてもらえる議員になりたい」（林）、「住民に寄り添い、住民の声を行政に届け、解決できるように奮闘する」（中野）、「主役は住民。住民主体のまちづくりをしたい」（松尾）などの発言がありました。

その他、一般質問の準備についての悩みや工夫を話すなど、この1年間の各議員の様子が浮き彫りになりました。

議会に期待することは…

政策実現、住民との対話、行政チェック

当日、参加者の方に、ご協力いただきました「アンケート・10項目の質問」の結果（回答33人（66%）について、主なものをお知らせいたします。

★回答者の地域は…佐山地区は64%、東角地区は18%、御牧地区は9%でした。

★年齢別は…20歳代～40歳代が33%、50歳代～60歳代が43%、70歳代以上が24%でした。

★傍聴した感想では…

「よかった」67%、「よくない」3%、「どちらともいえない」27%

★時間的には…「ふつう」が、67%であるので適度な時間であったといえますが、9%の方が「長い」と感じておられたことについては、今後の課題とさせていただきます。

★議会に期待することは…

「政策実現」36%、「住民との対話」36%、「行政チェック」13%

●議会に期待することでは、「政策実現」と「住民との対話」が36%で、住民が求める声をしっかりと聞き、その実現に向けて力を発揮してほしいとの期待であるといえます。第3位とはいえ「行政チェック」は重要な議員の仕事です。

*アンケートへのご協力、また貴重なご意見をありがとうございました。

意見・要望など

★4年間、「お勉強」で終わらないよう、頑張ってください。

★治水対策。一級河川の水の流れるところの樹木、土砂の除去をしないと、決壊等の恐れが大となってくる。国の問題であるが、陳情していかれるように。

★町の収入をどうすれば増やせるか。借金はダメ。支出の配分は、順位付けで解決すればと思う。

★今回はじめて議員の活動など、色々な分野での役割がわかりました。行政チェックをシッカリとして、住みよい久御山町を築いていただきたい。

★議員として目指すものについて、より具体的施策を聞かせてほしい。一期目議員とはいえ住民のために働こうとする意志が伝わったように思う。

編集後記

今年の夏は暑い…。「毎日暑いですね」この言葉をよく耳にするようになりました。

夏休みに入り、子供たちにとっては長い楽しい夏休み。町民プールも連日賑わっています。

いい季節ですが、風が弱く湿度が高く、急に気温が高くなる日は熱中症に警戒いただき、夏を満喫してください。

なお、11月号は11月15日の発行となります。

〈広報広聴委員会〉

委員長	巽 悦子
副委員長	信貴 恵太
委員	松尾 憲
委員	田口 浩嗣
委員	中 大介
委員	戸川 和子
委員	塚本五三藏
オブザーバー	島 宏樹

将来は家族で演奏を楽しみたい

「和っ鼓」は30年ほどの歴史があり、小学生から社会人10人程度で活動しています。

今回の「このまちこのひと⑫」は、八幡市を中心に活動している「和っ鼓」のメンバーで、佐山小学校に通う森凜太郎君と鈴春君の兄弟です。



月3回程度の練習発表の場として、保育所や老人ホーム、近隣地域の夏祭りや石清水八幡宮の鬼やらい神事などに参加しています。

きっかけは お父さんとお母さん

凜太郎くん、鈴春くんの兄弟が、太鼓を始めたのは約2年半前で、お父さんとお母さんの影響が大いにありました。

「最初は難しかったけど、練習を続けるうちに、楽しいなあとと思うようになった」といいます。

普段は、月3回の練習と、体力づくりのために1日おきの早朝にするランニングの日々。

今は太鼓に夢中

太鼓のほかにも、そろばんとスイミングも習っています。その中でも今は太鼓に夢中で、

「お祭りなどに呼ばれて演奏した後で拍手をもらえた時が嬉しい」と無邪気に語ります。

八幡市文化センターの大ホールで行われたイベントや八幡市の成人式での演奏は特に緊張しませんでした。昨年、地元の松陽台の夏祭りでは緊張したようです。

家族で演奏を

将来の夢について、凜太郎くんも鈴春くんもサッカー選手になりたいと同時に、「自分の子どもと一緒に、お父さんやお母さんのように演奏を楽しみたい」と語っていました。（聞き手：広報広聴委員会）



佐山小学校4年生(佐山在住)

森 凜太郎くん
りんたろう

佐山小学校2年生

森 鈴春くん
すずはる

表紙の「くみやま」を書いたのは佐久明俐さんです。



東角小学校 1年生
佐久明俐さん

インタビュにもハキハキと答える元気な明俐さん。学校の休み時間や家でも、漢字を書いたり本を読んだり、いろんな事を学びながら楽しく過ごしています。

好きな教科は音楽で、特に歌う事が大好き!!また、食べ物にはイチゴで、家の庭で収穫できるまで育てています。水やりなども手伝い、収穫したイチゴを食べることをとっても楽しみにしています。